

令和5年度第1回

富士見市史跡水子貝塚保存整備委員会

議事録

日 時	令和5年9月9日（月）		開会	午後1時00分		
			閉会	午後4時00分		
場 所	富士見市立水子貝塚資料館					
出席者	委 員	阿部委員	岩村委員	佐々木委員	大島委員	佐々木委員
		○	○	○	○	○
		井上委員	鈴木委員	古澤委員		
		○	○	○		
	オブザーバー	埼玉県教育局文化資源課 尾崎主事				
事務局	水子貝塚資料館 和田、堀、齊藤					
公開・非公開	公開（傍聴者なし）					
議 題	1 開会 2 議題 (1) 史跡水子貝塚整備基本計画について (2) その他 3 その他 4 閉会					

議 事 内 容

1 開会

2 議題

(1) 史跡水子貝塚整備基本計画について

委員長 事務局から説明を求める。

事務局 (資料に基づき説明)

委員長 質疑等があれば伺いたい。

委 員 整備のテーマ設定については、史跡固有の価値を表現したものでなければ、どの史跡でも一緒になりやすい。

事務局 水子貝塚だけでなく、富士見市の文化財全体の保存と活用との関係もあるかと思うが、方針はあるか。

委 員 市の地域文化財保存活用計画の策定予定は今のところなく、水子貝塚の整備計画が先行している。

事務局 国指定史跡となった船橋市の取掛西貝塚でも保存活用計画を策定中であるが、東京湾と人との関わりの歴史の中で、1万年前の貝塚の価値を見出そうとしている。

委 員 現在は海のない埼玉県に縄文時代には奥東京湾が広がり、それによって多くの貝塚が残されている中で、史跡指定されていることに意味があるのではないか。

事務局 ほぼ同じ時期の貝塚である蓮田市の黒浜貝塚と比較した場合に、特徴的な違いはどこにあるのか。

委 員 水子貝塚は貝塚を伴う大集落が全面保存されていること、黒浜貝塚は集落とあわせ湧水や小河川、海岸、斜面林などの自然が保存されていることが大きな特徴である。同じ時期の貝塚ではあるが各々で史跡の価値は異なる。

事務局 水子貝塚の最大の特徴をPRし、その上で課題を整理し展望を盛り込んだテーマとするのがよい。テーマ案については事務局に一任するのでよく検討してほしい。

委 員 埋蔵文化財の保存に関して現状はどうか。埋蔵文化財センターや収蔵庫の建設などの将来計画はあるのか。

事務局 旧考古館を埋蔵文化財の整理室として使用している。建物が老朽化しており移転等が必要であるが具体的な計画策定には至っていない。

委 員 活用に関して、学校教育との連携は重要であるが、市内の小学校の半分ほどにとどまっている。ある市では、小学生は年一回見学することが定着しており、土器で貝を煮て食べる体験プログラムを取り入れている。学校の要望を聞き、見学と体験のプログラムを作成するとよい。

事務局 交通手段の問題もあって、小学校の見学は増えていない。バスの借上げができれば良いが、予算化が難しい。

委 員 学校の年間指導計画に見学を位置付けることが必要である。また、富士見市の歴史の副読本に詳しく記述してもらうことや夏休みの課題に貝塚や遺跡について調べることを加えてもらうこと、バス借上げの予算化についても働きかけていくべきである。

事務局 小学生向けのパンフレットを作成し、全校に配布している自治体もあるので、そうした取組みも参考となるのではないか。

- 事務局 検討する。
- 委員 水子貝塚の集落成立の背景には、海とともに湧き水の存在が大きかったと考える。武蔵野台地は湧き水や小河川といった地理的条件により地域に文化が生まれ、文化財として残されている。水という視点から地域を調査し、水子貝塚も位置付ける研究も必要である。
- 委員 史跡は整備したらそれで終わりではない。研究を続けていくことも重要である。
- 委員 小中学生を対象とした研究の取組みも良いと考える。現在、小学生を対象としたジュニア考古学クラブを毎年実施しているが、単発事業である。テーマを設定して年間を通して継続的に調査や研究を続け、成果を発表する機会をつくるのが大切である。手始めに地元の水谷小学校の総合的学習の時間やクラブ活動の一環として縄文時代や水子貝塚の研究に取り組んでもらうことが良いのではないか。
- 委員 小学生、中学生、高校生、大学生といった若い世代がボランティアといった一回限りのものでなく、繰り返し活動できる環境を整えることも必要である。
- 委員 子どもたちが十分に学べる施設、コンテンツ、事業を充実させ、本物を体感し、体験することが学びにつながる。
- 委員 デジタルコンテンツの充実は、市内だけでなく全国から年齢に関係なくここを訪れるきっかけとなる。
- 事務局 整備計画の施設の改修点について、意見を伺いたい。
- 委員 展示館は、照明が暗く、窓がないため閉塞感がある。また、解説映像、展示手法や内容が古い。デジタルパネルなどを導入しつつ、最新研究の成果も展示する必要がある。
- 事務局 展示の計画と設計は別途実施する予定である。
- 委員 展望台は経年劣化により撤去とのことだが、再建するのか。
- 事務局 文化庁は、人工的な建造物が縄文時代の景観になじまないこと、建設に多額の費用をかけても史跡を理解する上での十分な効果が期待できないことなどを理由に再建には難色を示している。
- 委員 同程度のものを現在建設しようとしたら、以前のものよりも転落防止などの安全性や耐久性を重視した堅牢なものになると思われ、景観的に違和感が生じる。
- 委員 映像など展望台に代わる眺望を疑似体験できる方法を検討してほしい。
- 委員 園路沿いの樹木は、緑陰として残すということだが、日当たり状況の調査を実施し、剪定や伐採するものを選定する必要がある。また、景観的に園路の内側に低木を植栽することも検討してほしい。

(2) その他
とくになし